

学 習 指 導 案

教 科	商業	学校名	〇〇〇〇高等学校	氏 名	〇〇 〇〇
日 時	令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇限			場 所	〇〇〇〇
指導学級	〇年生 選択者 (〇名)			指導者	〇〇 〇〇
科 目	情報処理	単元名	3章ビジネス情報の処理と分析 5節ビジネスと統計		
使用教材	新訂版 最新情報処理 (実教出版)				
本時の主題	ABC 分析		配当時間	< 3 時間目 / 6 時間 >	
評価の観点	①提供データをもとに、表・グラフの作成ができ、ABC 分析を行うことができる。【知識・技術】 ②授業で気づいたこと、わかったことがワークシートと manaba に記入できている。【主体的に学習に取り組む態度】				
過程	学習内容	学 習 活 動		指導上の留意点	観点別評価
導入 (10分)	○前時までの復習	<ul style="list-style-type: none"> 前時の ABC 分析について振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> ABC 分析の 3 つの区分の意味を理解させる。 2 軸上のグラフ作成の方法を説明する。 パレート図の作成方法を説明する。 	
	○ABC 分析の技法を確認	<ul style="list-style-type: none"> 2 軸上のグラフの作成方法を復習する。 ABC 分析を行うためにパレート図の作成方法を復習する。 			
	○本時の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を説明する 	
【本時の目標】 パレート図を作成して ABC 分析ができる。					
展開 (30分)	○練習問題	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組む。 ①提供データの配布。 ②提供データをもとに表の作成を行う。 (f) 売上金額を集計して、売上金額の降順に並べ替える。 (g) 総売上金額に対する売上構成比率を計算し、売上構成比率累計を求める。 (h) 売上構成比率累計をもとに、商品を A、B、C の三つの区分に分類する。 ③パレート図の作成を行う。 (f) 売上金額を縦棒グラフ、売上構成比率累計を折れ線グラフの 2 軸上の複合グラフを作成する。 ④分析を行う。 (f) 表やパレート図から「区分」ごとに商品を振り分け、区分ごとに分析を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 机間指導をしながら、生徒の進捗度を観察し、把握する。 表の作成、グラフの作成に困っている生徒には適宜対応する。 分析をする際、気づきを促すような言葉かけを心がける。 分析内容の発表に対してコメントをする。 	【知識・技術】 <ul style="list-style-type: none"> ABC 分析の技法を身に着けているか。(行動観察) 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 「④分析を行う」のワークシートを通して、生徒の気づきを見取ることにより、粘り強い取り組みを行おうとしているか評価する。(行動観察・manaba)
	○発表	<ul style="list-style-type: none"> 分析内容の発表を数人行う。 全体で共有し、練習問題を振り返る。 			
まとめ (10分)	○本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> manaba にて自己評価を行う ①今日の授業の内容は理解できましたか？ ②理由。 ③分析で気づいたこと。 ④今日の授業で分かったこと。新しい発見。 		<ul style="list-style-type: none"> 机間指導をしながら、まとめの入力状況を確認する。 	【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 自己評価を通して、生徒のわかったことを見取ることにより、自ら学習を調整しようとしているか評価する。(manaba)
		<ul style="list-style-type: none"> 次時の学習内容を確認する。 			